

富津市在宅医療・介護連携推進会議 会議録

1	会議の名称	令和3年度第1回富津市在宅医療・介護連携推進会議																																														
2	開催日時	令和3年8月2日（月） 18時00分～19時25分																																														
3	開催場所	ZOOMによるオンライン及び富津市役所3階庁議室																																														
4	審議等事項	（1）在宅医療・介護連携のための現状把握について （2）令和3年度富津市在宅医療・介護連携推進会議の方針について～グループワーク～																																														
5	出席者名	<p>（委員）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>氏名（敬称略）</th> <th>参加方法</th> <th>氏名（敬称略）</th> <th>参加方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>三枝 奈芳紀</td> <td>来庁</td> <td>竹内 修</td> <td>ZOOM</td> </tr> <tr> <td>田中 計</td> <td>ZOOM</td> <td>川口 哲也</td> <td>来庁</td> </tr> <tr> <td>熊切 篤</td> <td>ZOOM</td> <td>水町 裕義</td> <td>ZOOM</td> </tr> <tr> <td>大島 拓二郎</td> <td>ZOOM</td> <td>丸 尚子</td> <td>ZOOM</td> </tr> <tr> <td>宮野 京子</td> <td>ZOOM</td> <td>土屋 礼江</td> <td>ZOOM</td> </tr> <tr> <td>鈴木 智子</td> <td>ZOOM</td> <td>夏目 剛志</td> <td>ZOOM</td> </tr> <tr> <td>牧 達人</td> <td>ZOOM</td> <td>有江 直樹</td> <td>ZOOM</td> </tr> <tr> <td>和泉 喜章</td> <td>ZOOM</td> <td>早川 清子</td> <td>ZOOM</td> </tr> <tr> <td>古堀 真由美</td> <td>ZOOM</td> <td>尾崎 睦子</td> <td>来庁</td> </tr> <tr> <td>藤野 雅一</td> <td>ZOOM</td> <td>長谷川 栄</td> <td>来庁</td> </tr> </tbody> </table> <p>（事務局）中村明美、飛澤賢宏、大語茉莉</p>			氏名（敬称略）	参加方法	氏名（敬称略）	参加方法	三枝 奈芳紀	来庁	竹内 修	ZOOM	田中 計	ZOOM	川口 哲也	来庁	熊切 篤	ZOOM	水町 裕義	ZOOM	大島 拓二郎	ZOOM	丸 尚子	ZOOM	宮野 京子	ZOOM	土屋 礼江	ZOOM	鈴木 智子	ZOOM	夏目 剛志	ZOOM	牧 達人	ZOOM	有江 直樹	ZOOM	和泉 喜章	ZOOM	早川 清子	ZOOM	古堀 真由美	ZOOM	尾崎 睦子	来庁	藤野 雅一	ZOOM	長谷川 栄	来庁
氏名（敬称略）	参加方法	氏名（敬称略）	参加方法																																													
三枝 奈芳紀	来庁	竹内 修	ZOOM																																													
田中 計	ZOOM	川口 哲也	来庁																																													
熊切 篤	ZOOM	水町 裕義	ZOOM																																													
大島 拓二郎	ZOOM	丸 尚子	ZOOM																																													
宮野 京子	ZOOM	土屋 礼江	ZOOM																																													
鈴木 智子	ZOOM	夏目 剛志	ZOOM																																													
牧 達人	ZOOM	有江 直樹	ZOOM																																													
和泉 喜章	ZOOM	早川 清子	ZOOM																																													
古堀 真由美	ZOOM	尾崎 睦子	来庁																																													
藤野 雅一	ZOOM	長谷川 栄	来庁																																													
6	公開又は 非公開の別	公開 ・ 一部非公開 ・ 非公開																																														
7	非公開の 理由	富津市情報公開条例第23条第 号に該当 （理由）																																														
8	所管課	健康福祉部介護福祉課 高齢者支援係 電話 0439-80-1300																																														
9	会議録 （発言の内容）	別紙のとおり																																														

発言者	発言内容
事務局 (中村係長)	<p>定刻となりました。</p> <p>本日欠席される旨ご連絡をいただいている方を除き、お集まりいただいております。</p> <p>本日はZOOMによりご参加いただいている委員の方もおられます。聞き取りにくい等の支障がございましたら、遠慮なく手を上げてアピールしていただければと存じます。</p> <p>会議を始めます前に、配付資料の確認をいたします。</p> <p>事前にお配りしたものは、</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 次第 ● 議題関連資料 <p>です。</p> <p>不足がございましたら、資料をお持ちしますので、挙手をお願いいたします。</p> <p>ZOOMでご参加の方は、本日、会議中に画面共有をいたしますので、画面を見ていただければと存じます。</p>
事務局 (中村係長)	<p>(開会)</p> <p>それでは、ただ今より、令和3年度第1回富津市在宅医療・介護連携推進会議を始めさせていただきます。</p> <p>また、議事録作成のため、会議の内容を録音させていただいておりますので、ご了承くださるようお願い申し上げます。</p> <p>お手元の次第により、進めさせていただきます。</p> <p>開会にあたり、三枝会長からごあいさつをお願いいたします。</p>
三枝会長	<p>皆さんこんばんは。お疲れのところお集まりいただきまして、ありがとうございます。いまコロナが猛威を振るってお</p>

	<p>りまして、我々もなかなか会合を持つことができない状態です。ただ、在宅で医療や介護を待っている方々は、常にいらしゃる訳なので、こうした中でも我々は少しずつでも進んでいかなければなりません。今日は市が会を用意してくれましたので、忌憚のない意見をいただきまして、少しずつでも進んでいければと思います。よろしく願いいたします。</p>
事務局 (中村係長)	<p>ありがとうございました。富津市在宅医療・介護連携推進会議設置要綱第6条に「会長は議長となる」と規定されていますので、三枝会長に議事進行をお願いいたします。</p>
三枝会長	<p>それでは、議長を務めさせていただきます。 初めに、私から本日の会議の議事録署名委員の指名をいたします。 熊切委員を議事録署名人に指名しますので、よろしく願いいたします。 それでは、会議次第に沿って、進めさせていただきます。 議案第1号「在宅医療・介護連携のための現状把握について」を議題といたします。事務局に説明を求めます。</p>
事務局 (飛澤)	<p>議題関連資料の1頁をお開きください。富津市の現状と厚生労働省が作成している手引きについて説明いたします。はじめに、富津市の現状についてです。令和3年4月1日時点の高齢化率は38.2%。15歳から64歳人口の比率は53.1%等となっております。 2ページをお開きください。富津市の医療や介護の各種サービスを提供していただいている箇所数を示しております。6の訪問介護や10の通所介護等については、市外で本市の指定を受けている事業所の数も含めております。</p>

3 ページをお開きください。在宅医療・介護連携推進事業は、平成26年の介護保険法改正により、平成27年度から市町村が行う事業として地域支援事業というものの一つとして位置づけられました。

地域支援事業の中には、赤色の在宅医療・介護連携推進事業のほか、オレンジ色の認知症総合支援事業、緑色の生活支援体制整備事業、青色の介護予防・日常生活支援総合事業などがあり、それぞれが連動しています。たとえば、認知症初期集中支援チームでは医療・介護の各専門職（川口先生や看護師の鈴木様、古堀様、ケアマネの有江様、包括の皆さま）が会議にご協力いただきつつ、認知症の方やその家族への支援方法を検討しております。

4 ページをお開きください。今年度に策定した第8期介護保険事業計画では、3つの目標と7つの施策を提示しており、本事業も施策3に明記しております。

5 ページをお開きください。見づらくなっていて申し訳ありませんが、ここからは厚生労働省が発行している本会議の手引きに基づいて説明させていただきます。

手引きでは、令和2年度までの（ア）から（ク）の8つの事業項目を踏まえつつ、今年度からは市町村がPDCAサイクルに沿った取り組みを更に進められるよう、事業構成が見直されております。

6 ページをお開きください。PDCAサイクルの図となっております。切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築に向けて、「現状分析・課題抽出・施策立案」を行います。そのうえで、相談支援や地域住民への普及啓発等の「対応策を実施」します。対応策の立案時に予め評価の時期や指標を設定しておき、「評価」します。評価結果を踏まえ、「改善」していきます。

7ページをお開きください。誰でも加齢に伴う心身機能の衰えから、日常生活において医療や介護が必要となること、容態が急変して入院することもあることを示しております。

8ページをお開きください。在宅療養者の生活の場において、医療と介護の連携した対応が求められる4つの場面を意識した取り組みが必要となってくることを示しております。

9ページをお開きください。この事業の一つとして、木更津市と君津市、富津市、袖ヶ浦市の四市が君津木更津医師会に委託し、地域相談サポート医設置事業を実施しております。これは、三枝先生を含めた7名のサポート医の先生が、医療的な困難ケースについて相談に乗っていただくというものです。

「相談後はどんな流れになるの」という部分をご覧ください。今年度6月から、医師会にてバイタルリンクというICTツールを導入していただきました。これにより、医療困難ケースについて連絡帳（グループラインのようなもの）で情報交換等ができるようになりました。

委員の皆さまを含めた地域の医療・介護に携わる方々におかれましては、お気軽に地域包括支援センターへ相談をお寄せいただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

10ページをお開きください。こちらは、富津市民が、どの自治体にある医療機関から、往診などの医療サービスを受けているかを示した表です。令和元年度中のKDBデータを集計しております。訪問診療や看取り、訪問歯科診療等で市内の医療機関が多くのパーセンテージを占め、サービスを提供いただいております。一方、富津市では、入退院支援加算についてののみ、実績がない状態です。

12ページをお開きください。富津市民が、どの自治体にある介護機関から、訪問介護等の介護サービスを受けている

	<p>かを示した表です。ほとんどの介護サービスについては、市内の事業所から1番多い割合でサービス提供いただいております。</p> <p>説明は以上です。</p>
三枝会長	説明は終わりました。質問はございませんか。
	(質疑応答なし)
三枝会長	<p>それでは、各委員からそれぞれの所属団体等で取り組んでいる施策について、情報交換を始めます。議題関連資料の20ページをお開きください。</p>
三枝会長	<p>まず医師会の方から報告したいと思います。</p> <p>医師会については白紙となっておりますが、コロナの影響でほとんどこういった会合ができておりません。</p> <p>ただ、相談窓口サポート医による対応困難会議を毎月開いております。今は7人の委員でやっていますが、今後は精神科の先生にも入ってもらい、8人で対応予定となっております。普段の診療や仕事の中で困っている方がいらっしゃいましたら、気軽に申し出ていただき、検討させていただきますので、お願いいたします。</p> <p>バイタルリンクについては、医師会が県からの補助金で始めているものです。色々な機能がありますので、ぜひ利用していただき、色々な情報交換ができればと思います。まだ具体的には動いておりません。以上です。</p> <p>それでは、認知症疾患医療センターは、事務局にお願いします。</p>
事務局	本日、細井様が欠席ですので、代わりに報告させていただきます。

(飛澤)	<p>きます。</p> <p>袖ヶ浦さつき台病院にて、多職種症例勉強会を開催していただいております。令和2年中は中止でしたが、令和3年8月にZOOMで開催予定です。また年度内であと1回開催する予定と伺っております。以上です。</p>
三枝会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>歯科医師会は、水町委員にお願いします。</p>
水町委員	<p>よろしくお願いいたします。</p> <p>会議・研修等の名称が「口腔ケアスキルアップ研修会」となっておりますが、これは「歯科口腔機能管理研修事業」です。スキルアップ研修会は対面なので令和2年度は行っておらず、「歯科口腔機能管理研修事業」というものを令和2年度、令和3年度に行う予定です。</p> <p>会議の概要は書いてあるとおり、歯科のない病院や介護施設等に勤務されている方へ、口腔に関する知識や技術向上に向けた研修会を行うとなっております。</p> <p>令和2年度に関しては病院向け、施設向けに関してもこうした(資料記載の)ものをやりました。今年度は摂食嚥下及び口腔ケアについて、日本大学松戸歯学部障害者歯科学講座に依頼し、オンデマンドにて配信予定です。</p> <p>以上です。よろしくお願いいたします。</p>
三枝会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>薬剤師会は、大島委員にお願いします。</p>
大島委員	<p>薬剤師会に関しては、昨年、一昨年から引き続きで、地域包括支援センターを含めたおくすり相談を続けさせていただいております。けれども、コロナにより、窓口を開いて</p>

	<p>質問を受け付けるという状態で継続はしていますが、相談はなかったということでございます。今年度も取組みは続けますので、拠点薬局等にて、施設の方、支援センターの方から問合せがあれば受けようという流れになっております。</p> <p>また、次のページで訪問する薬剤師の育成という事業があります。これは一部の薬局に訪問し、中心静脈栄養を含め、在宅(訪問薬剤師)としてどういうふうにするかということを作成しております。6薬局を対象に実施しております。</p> <p>高齢者を含めたお薬教育や、特定健診に絡めたお薬相談会について、昨年度に実施できたのは、相談会の方でした。お薬教育については、このような状況だったので実施できませんでした。本年度も要望があれば実施予定です。</p> <p>お薬相談の方は、今年は中止です。以上です。</p>
三枝会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>訪問看護は事務局にお願いします。</p>
事務局 (飛澤)	<p>訪問看護については、わくわくの門屋氏から資料をいただいております。口頭でお伝えいたします。</p> <p>君津地域訪問看護をつなぐ会の概要としては、君津地域における医療機関と介護機関との連携及び協働に係る課題等について検討し、相互理解を深めることを目的に開催しております。令和3年3月で、通算21回開催しております。</p> <p>令和2年度の実績は、9月12日、12月12日、3月13日にZOOM開催となっております。内容としては、コロナのマニュアル、利用者へのチラシ等を共有しています。</p> <p>令和3年6月12日にもZOOMで情報交換をしたとのことです。以上です。</p>

三枝会長	<p>ありがとうございました。土屋委員、鈴木委員から補足はありますか。</p>
	<p>(意見なし)</p>
三枝会長	<p>それでは、リハビリ職団体は夏目委員にお願いします。</p>
夏目委員	<p>大佐和分院の夏目です。</p> <p>君津地域リハビリテーション連絡協議会については、コロナ感染拡大防止のため、令和2年5月と11月、令和3年5月に書面開催されました。(令和3年)11月は対面か書面か未定ですが、開催する予定です。</p> <p>地域包括ケアの推進に向けた市町村への事業協力としては、君津圏域に関連する団体から、地域ケア会議、介護予防事業への協力依頼があった場合には、地域リハパートナーの派遣を含め、人員調整を行う予定です。実際に令和2年9月15日、12月15日、令和3年3月16日に木更津市で地域ケア会議に派遣されたそうです。</p> <p>リハ職の在籍していない関係機関に対する相談支援としては、自立を促すリハビリ体操、認知症サポーター養成講座、「早く気付こう嚥下障害」などの7つの内容を準備していたようですが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、施設からの出張希望はなかったとのこと。</p> <p>君津圏域公開フォーラムについては、新型コロナウイルスの影響から中止となり、その代替事業として、健康増進に役立つ情報誌を地域リハ連絡協議会、リハパートナー施設、君津中央病院にて3,500部配布したそうです。内容は「会議・研修等の概要」に記載したものの他に、認知症カフェ所在マップ一覧表、受動喫煙について、君津木更津薬剤師会薬業会の活</p>

	<p>動内容、ふまネット運動、骨を丈夫にするために、といった内容が書かれています。令和3年度はアーカイブ配信の予定です。</p> <p>地域リハビリテーション調整者養成研修会については、千葉県内のスタッフが集まり、「地域診断の基礎」という内容で、令和3年3月19日、オンラインで開催されました。地域リハを提供するに当たり、その効果判定を明確にする指標の構築を目的に話し合われたとのことです。</p> <p>本年度の開催は未定です。以上です。</p>
三枝会長	<p>ありがとうございました。三師会については、事務局よろしいでしょうか。</p>
事務局 (飛澤)	<p>三師会では、市の要介護認定者数やサービス受給者数について情報共有をしておりましたが、令和2年度中はコロナ禍のため実施しておりません。</p> <p>なお、ワクチン接種については、市内の医療機関の方々を中心に、ケアマネジャーさんも含めて利用者の調整等をしていただきました。この場を借りて御礼申し上げます。</p>
三枝会長	<p>訪問介護については、事務局よろしいでしょうか。</p>
事務局 (飛澤)	<p>秋川委員が本日欠席なので、代わりに報告させていただきます。</p> <p>訪問介護につきましては、各事業所での研修、外部での研修を個人で研修をされていると伺っております。また、特定事業所加算の事業所の研修もあるそうです。以上です。</p>
三枝会長	<p>ありがとうございます。富津市ケアマネジャー連絡協議会については、有江委員にお願いします。</p>

有江委員	<p>お疲れさまです。</p> <p>富津介護支援連絡協議会の方は、令和2年度の実績は、コロナの影響で何もアクションが起こせませんでした。令和3年度も現時点では動きがありません。</p> <p>富津市ケアマネジャー協議会としては、令和2年度に研修会を1回、3月に開催しています。令和3年度は、今月8月24日に四市合同のケアマネジャー協議会の研修会を実施予定です。そのほかに2回ほど研修会を実施予定です。いずれも会場(参加者は)少数、ほぼリモートのハイブリット方式です。</p> <p>20頁の医師会と君津木更津地区4市ケアマネジャー連絡協議会について、令和2年11月5日に災害時の対応について、医師会館にてハイブリット方式での研修会が開催されました。以上です。</p>
三枝会長	<p>老人保健施設については、古堀委員よろしいでしょうか。</p>
古堀委員	<p>お疲れさまです。</p> <p>老健もコロナ禍で開催がほとんどできませんでした。令和3年の改正のなかで、リスクマネジメントが加算に加えられることにより、研修会がオンライン等で行われています。認知症や看取り、在宅支援のケアや質を上げるための研修は、オンラインだけで意見交換を含めて行われています。</p> <p>県内の老健でクラスターがありました。そのため、感染対策のオンライン研修は比較的多かったように思います。地域のブロック会は未定で延期になっています。</p>
三枝会長	<p>ありがとうございました。地域包括支援センターは、事務局にお願いします。</p>

<p>事務局 (飛澤)</p>	<p>先ほど申し上げた地域相談サポート医の相談窓口について、地域包括支援センターにご協力いただいております。</p> <p>地域相談サポート医における訪問支援・アウトリーチについては医師会にて県の補助を受けながら、令和2年4月から実施しております。</p> <p>尾崎委員、藤野委員から補足はありますか。</p>
	<p>(補足なし)</p>
<p>三枝会長</p>	<p>そのほか、何かございますか。メモリーウォークについては何かございますか。</p>
<p>事務局 (飛澤)</p>	<p>事務局ですが、「認知症メモリーウォーク千葉 in 富津」についても触れさせていただきます。</p> <p>認知症の人が安心して暮らせるよう、市民に対し啓発を行うことを目的に、イオンモール富津内でパレードを実施予定です。昨年度は延期でしたが、今年度は4月から実行委員会議を行っております。本番は9月23日にイオンモール富津で行います。もしよろしければ、ご協力いただければと思います。</p> <p><u>※認知症メモリーウォークは延期になりました。9月23日は開催しません。</u></p> <p>また、本会議について、令和2年中はワーキンググループを含めて4回ご協力いただいております。今年度も、ワーキンググループ等に引き続きご協力いただければと存じます。</p>
<p>三枝会長</p>	<p>ありがとうございます。一通りの説明が終わりましたが、何かご質問はございますか。</p>
	<p>(質疑応答なし)</p>

<p>三枝会長</p>	<p>質問もないようですので、以上で議題第1号を終了します。 続きまして、議題第2号「令和3年度富津市在宅医療・介護連携推進会議の方針について」を議題とします。事務局に説明を求めます。</p>
<p>事務局 (飛澤)</p>	<p>議題関連資料23ページをお開きください。先ほども少し触れましたが、この会議を進めるに当たっては、医療と介護の連携した対応が求められる4つの場面を意識した取り組みが必要です(手引き23頁)。4つの場面とは、①日常の療養支援、②入退院支援、③急変時の対応、④看取りです。</p> <p>本日は、この4つの場面を念頭に、横軸の「課題抽出」「施策立案」「ICTの活用の可能性」等について、グループワークを実施していただきたく存じます。対象は、在宅で療養が必要な方とし、医療や介護のサービスが求められる場合と仮定してください。</p> <p>グループワークの目的は、医療と介護の各現場に従事されている委員の皆さまから、忌憚のない意見を頂戴することです。実現可能性や詳細まで詰めていただく必要はございませんので、ぜひ思いついた意見を伺えれば幸いです。</p> <p>お出しいただいた施策の実施等のご意見については、後日、ワーキンググループにて、更に議論を重ね、一つでも実現させたいと考えております。</p> <p>なお、千葉県認知症地域医療支援事業というものがあり、認知症サポート医の先生が認知症の医療等について講演を行う場合、県の補助を受けることができます。昨年度、認知症分野について講演会を行う予定でしたがコロナ禍で実施できませんでしたので、県の事業に応募している旨、ご案内させていただきます。</p>

また、9月30日に君津木更津医師会において、ICTを活用した医療と介護の連携をテーマに発表を控えております。発表者は、四市内を代表するケアマネジャーさんと地域包括支援センターです。グループワークでお出しいただいた「ICTの活用の可能性」については、その発表の際の参考意見とさせていただきますたく存じます。

グループワークの進め方については、19ページをご覧ください。

先ほども申し上げたとおり、このグループワークの目的は委員の皆様から課題に対する施策等についてご意見を頂戴する事です。お時間は20分とさせていただきます。

進行においては、司会役を決めてください。立候補がいらっしゃらない場合は、本日、一番速く起きた方をお願いします。

具体的な進め方としては、23ページの記入例の記載内容を参考に、まずは①～④のいずれかを選択してください。次に、たとえば日常の療養支援についてどんな課題や施策があるか、②の入退院支援についてどんな課題や施策があるか等について、ご意見をいただければと存じます。

または、ICTの活用ということをテーマに、4つの場面においてどんな活用方法が考えられるか等をご議論いただいても構いません。

時間が限られておりますので、特に「課題抽出」「施策立案」「ICTの活用の可能性」について議論していただければと思います。

24ページに白紙のシートがありますので、必要に応じてご利用ください。

説明は以上ですが、何かご質問はありますか。

有江委員	<p>グループワークをやるといっても、今の説明だけだと参加者の皆さんは具体的なものが見えてきていないかもしれないです。さあやってくださいと言われて、みんな何をどうするかが難しいかと思います。</p>
事務局 (飛澤)	<p>4つの場面のいずれかを選択し、課題に対する施策やICTの活用可能性について議論いただきましたかっただけなんですけれども、急にそう言われても難しいでしょうか。</p>
有江委員	<p>どうグループが分かれているかも分からないです。</p>
事務局 (飛澤)	<p>市役所の会場参加者4人とZOOM参加者16人とランダムで割り振らせていただこうと思います。4人ずつのグループになる予定です。</p> <p>もし難しければ、医師会の発表も控えておりますので、ICTで日常の療養支援でどんな可能性があるか等、それに絞ってご議論をいただけたらと思います。</p>
川口委員	<p>ICTについては、三枝先生も今年から始めたばかりで分からないところがあります。議論するとしても、グループを分けてしまうと分からなくなってしまうと思います。グループ分けをせずに話し合った方がよいのではないのでしょうか。</p>
事務局 (飛澤)	<p>三枝会長、いかがでしょうか。</p>
三枝会長	<p>たしかに、テーマが漠然としているかと思います。ICTと言われても具体的な機能についてはなかなかわかりづらいところがあると思います。</p> <p>バイタルリンクについては、患者とか利用者に関わる医療</p>

	<p>介護スタッフが情報交換をすることがメインになっていると思います。ただ、ZOOMの会議を開く機能もあります。実際に活用すれば色んなことに使えると思います。</p> <p>何をやっていくかというよりも、こんなことをやれたらいいのでは、という意見をどんどん出していただければよいかなと思います。それに対して、バイタルリンクでどのように対応できるかということ帝人(バイタルリンクを提供いただけて帝人ファーマ株式会社)とも話していこうと思います。</p>
事務局 (飛澤)	<p>ありがとうございます。グループワークについては、三枝会長からアナウンスいただいたとおり、ICTを使うことでこんなことができたという展望について議論していただくという形でいかがでしょうか。</p> <p>もし難しければ、ICTでなくても、目指すべき姿等についてでも構いません。皆さまのご意見を一つでも多く抽出させていただきたく存じます。</p> <p>グループ分けをさせていただくので、お待ちください。自動で割り振らせていただきます。</p> <p>もしグループワーク中に難しいことがあれば、ヘルプマークをクリックしていただければ事務局につながります。</p> <p>グループワーク終了後、議論していただいたことについて3分程度、発表していただければと存じます。</p>
	<p>【グループワーク】</p> <p>20分</p>
事務局 (事務局)	<p>お時間になりました。グループ1(ルーム1)は熊切様、丸様、宮野様、藤野様です。どなたか発表をお願いできますでしょうか。</p>

<p>グループ1 (藤野委員)</p>	<p>I C Tを活用することにより、課題に対して複数の専門職が一度に課題を見ることで、色々な意見が取り入れられるのはとてもよいという話が出ました。</p> <p>一方、課題を出したときに答えが出るまでのレスポンスが、直接ドクターに提案してお考えを聞くより落ちることを危惧するということが1点あります。また、ドクターの負担が増えてしまうのではということ、医師の指示に対し、関係機関がどこまで動けるかという課題もあるのでは、という意見が出ました。</p> <p>発展形として、(今)I C Tを活用するのは、医療福祉関係者のネットワークですが、将来的には、利用者が直接参画して、自分が困っていることを直接発信することで、利用者の思いが直接私たちに伝わるのではないかと思いました。以上です。</p>
<p>事務局 (飛澤)</p>	<p>ありがとうございます。</p> <p>グループ2は、古堀様、大島様、大佐和分院の御三方(土屋様、鈴木様、夏目様)、富津市ケアマネジャー協議会の方(和泉様)です。どなたか発表をお願いできますでしょうか。</p>
<p>グループ2 (古堀委員)</p>	<p>話し合った内容は、目指す姿についてのI C T活用です。次のような意見がありました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 住み慣れた環境の中で、栄養管理や水分、服薬管理などをI C T活用により把握できるのではないか。 ● 薬剤師は部署を離れられないので、退院時カンファについてI C Tが活用できたらより参加できる。 ● 独居時の急変にI C Tを活用すると、手遅れにならないのではないか。 ● 独居の人が多くなか、I C T活用について医療従事者は大

	<p>丈夫だが、インターネットインフラがない、富津市内では難しいところもある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 高齢者は新しいものを覚えるのに拒否的になるのではないか。それなら、(ICTツール等を)市が提供するのか。 ● 救急隊は独居の方の所へ行ったときにこの人の基礎疾患が分からない。そんなときに、色んな所から情報を得て大きなサーバーを持ってくれば、そこから共有できるという意見が出た。しかし、そこには個人情報への壁がある。 ● 独居の方がICTを使えなくても、地域の支援者が(ICTツールにより)連携して情報共有できれば大きなメリットがある。 ● 急変の時には、どこまでリアルタイムに情報が得られるか。独居、高齢者の方については問題点が多々挙がってくるのではないか。 <p>こうした意見が出ました。</p>
<p>事務局 (飛澤)</p>	<p>ありがとうございます。</p> <p>グループ3は、割り振りのミスがありましたが、ZOOMで参加されている田中様、水町様、早川様と来庁されている三枝会長、川口様、尾崎様です。どなたか発表をお願いしますでしょうか。</p>
<p>グループ3 (三枝会長)</p>	<p>話し合った内容としては、(ICTのメリットとしては)情報共有が大きいです。</p> <p>急に往診を頼まれたとき、患者さんが飲んでいる薬や家族の背景等の情報をもらえれば、(患者宅へ)行ったときにちゃんとした診療ができます。遠方の主治医との連携もあります。上総在宅(診療所)、君津在宅(診療所)などはそのときによって来てくれる先生が違う可能性があります。そうした方へ</p>

	<p>の情報共有や、上総在宅（診療所）内での情報共有ができれば有効です。</p> <p>バイタルリンクを使ってみて気になるのが、LINEのように新着情報を教えてくれないので、毎日開きに行かないといけないということです。パスワードの保存も48時間のみです。そのあたりは帝人さんと相談して改良できればと思っています。</p>
<p>事務局 (飛澤)</p>	<p>ありがとうございます。</p> <p>グループ4は、竹内様、有江様、牧様です。どなたか発表をお願いできますでしょうか。</p>
<p>グループ4 (牧委員)</p>	<p>急変時の対応や、看取りについてのICT活用についての話し合いになりました。</p> <p>バイタルリンクが常に活用されてないとしても、専門職で情報共有できる素晴らしいシステムだと思います。</p> <p>グループ1の発表のように、利用者からの発信ができてないというところで、スマートウォッチ、ウェアラブル端末を患者につけていただくことで、24時間バイタル、呼吸数、血圧、在宅酸素の方の夜間のサチュレーション、心電図等々の情報を集められる可能性があるのではという話をさせていただきました。</p> <p>GPSがついているものもあるので、日常の場面でも認知症の方の徘徊に活用したり、歩数や活動量から介護予防につながる可能性を議論させていただきました。</p> <p>問題点としては、主に管理面として、充電、操作方法に課題があるということです。</p> <p>情報がたくさん収集できたとしても、夜間休日の対応できる環境が追い付いていないというところで、課題もたくさん</p>

	あるんだろうなというところで話し合いました。
事務局 (飛澤)	ありがとうございました。 グループワークは事務局で進行を引き継がせていただいておりますが、これで三枝会長へ進行をお返しします。
三枝会長	他のグループへの質問はありますか。
	(質問なし)
三枝会長	質問もないようですので、以上で本日の議題はすべて終了しました。 本日挙げた検討すべき課題と施策については、後日、ワーキンググループにて精査し、具体化していければと思います。引き続き、委員の皆さまのご協力をお願いいたします。 委員の皆さまから「その他」で何かありますか。
	(意見なし)
三枝会長	事務局から何かありますか。
事務局 (中村係長)	音声聞き取りにくかったことについて、お詫びいたします。2点、ご連絡いたします。 1点目です。本日の会議録等は、市のホームページへ公開いたします。準備ができましたら、メール等で委員の皆さまへ周知いたします。
事務局 (中村係長)	2点目です。 ワーキンググループの開催につきましては、グループ長と協議し、後日、追って開催のご案内を差し上げます。以上です。

三枝会長	それでは、以上をもちまして、令和3年度第1回富津市在宅医療・介護連携推進会議を終了いたします。 お疲れさまでした。
------	--